

令和2年度8月第5回美浦村定例教育委員会議事録

- 開会日時 令和2年8月25日(火) 午前9時30分
- 閉会日時 令和2年8月25日(火) 午前11時15分
- 開会場所 美浦村役場 3階大会議室
- 出席委員等
  - 教育長 富永 保
  - 教育長職務代理者 山崎 満男
  - 委員 小峯 健治
  - 委員 浅野 千晶
  - 委員 栗山 秀樹
- 出席事務局職員
  - 教育次長 木鉛 昌夫
  - 学校教育課長 小山 久登
  - 指導室長 森永 佐由美
  - 子育て支援課長 福田 浩子
  - 生涯学習課長 吉原 克彦
  - 美浦幼稚園長 坂本 千寿子
  - 大谷保育所長 保科 八千代
  - 木原保育所長 永井 弘子
- 欠席委員 なし
- 傍聴人 なし
- 提出議案及び議決結果

| 案 件   |                                | 審議結果 |
|-------|--------------------------------|------|
| 議案第1号 | 美浦村立学校の教育職員の在校等時間の上限等の方針に関する規則 | 可決   |
| 報告第1号 | 令和2年度美浦村一般会計補正予算について           | —    |

○教育長

ただ今より令和2年度第5回定例教育委員会を開会いたします。本日の会議は、全員出席いただいております。教育委員会会議規則第17条第1項により、議事録署名委員を指名いたします。山崎教育長職務代理者をお願いします。それでは、本日の日程をご報告いたします。付議事項としまして、議案第1号美浦村立学校の教育職員の在校等時間の上限等の方針に関する規則。報告事項としまして、報告第1号令和2年度美浦村一般会計補正予算となります。

【議案第1号 美浦村立学校の教育職員の在校等時間の上限等の方針に関する規則】

【指導室長 説明】

【質疑】

○小峯委員

上限等の方針に関するということで、上限を決めるというのは、確かに働き方改革なんですけど、業務量が減らない限りこれは、逆の言い方をすると、自宅に持ち帰ってやるようなことにもなりかねない。2のところに書いてあるような教育職員の業務量の適切な管理を行うという部分では、相当なてこ入れをしていかないと、定員削減で、教員数が減ってきている中で業務量は一方向に減らない。むしろ、調査等で増えてきている傾向があるわけですから、教育委員会としての事務局からの手助けというか、プラスアルファの部分を設定していかないと、それこそ旗振りだけで、中身がないというふうになりかねないので、この点についてはさらに具体化をしていただきたいと希望します。希望という発言をしたのは、今後どういうふうにしていくか、方針をやっぱり出してもらいたい。今、お盆と、それから県民の日、そうした学校閉庁日を設定していったのもその一環なわけですから、そうした具体的な方針を今後も詰めていただきたい。例えば印刷とか、庶務的なサポート体制をとるような、そういうお金が伴う部分なので、今日明日でできるわけではないと思うので、ぜひそういう方向性を示していただきたいという要望です。

○指導室長

学校の業務を持ち帰りも含めて検討し、実施できるようこちらでも考えていきたいところで。毎月教職員から勤務時間外の在校等時間の報告があります。個人だけではなく、組織全体として向き合う部分と両面から、それから小峯委員さんが今、おっしゃられたようなサポートの部分を総合的に取り組み、少しでも上限規制に合うような業務量にしていければと考えております。

○教育長

上限45時間、360時間ということですが、教職員や校長には、5分を意識してほしいと思います。5分間をどう削減していくか、この積み重ねしか絶対ありませんので、5分のこだわりを、学校、教職員が皆で自覚しながらやっていただきたい。また、先ほど小峯委員さんから出ましたように、削減できるようなものについては思い切ってやっていきたいと考えています。その一環として、まず計画訪問等にその部分をあらわしていきたいと思っているところでございます。

【報告第1号 令和2年度美浦村一般会計補正予算】

【各所属長説明】

【質疑】

○栗山委員

1 ページにあります GIGA スクール構想実現事業の機械器具費の 637 台の端末は、タブレットの入れ替えとか更新という理解でよろしいですか。

○学校教育課長

児童生徒の端末、タブレットになります。もともと今年度の 9 月から、3 人に 1 台の分について 5 年契約で既に整備するということになっておりましたが、GIGA スクール構想が 2 月に立ち上がりまして、その後コロナ感染症対策関連で補正予算がついたところで、期間を前倒しし、今年度中に 1 人 1 台端末を達成しようということになりましたことから、残り 2 台分を合わせて、1 人 1 台の児童生徒の端末を整備いたします。

【その他 美浦幼稚園教諭の関係者の PCR 検査の結果について】

【その他 美浦幼稚園課外授業について】

【その他 美浦幼稚園のバスについて】

【幼稚園長 説明】

【質疑】

○栗山委員

最後にありましたバスが贈車の件ですが、入れ替えて使うのでしょうか。

○教育次長

幼稚園で 2 台ありましたバスのうち、古いほうの 1 台を廃車して写真のバスに取りかえるということです。この件について補足いたしますと、さくら自動車さんで龍ヶ崎市にあるみどり幼稚園の通園バスとして使っていたものが、幼稚園側の都合により小さいバスに変えてほしいという要望がありバスが余ったことから、美浦村の幼稚園で使ってほしいと寄付いただいたものであります。バスですがまだ 5 年か 6 年ぐらいしか利用しておらず、バスのラッピングは村の予算にて行いましたが、すぐ使用できるよう納車時には美浦幼稚園のラッピングにさせていただき、昨日納車されたものです。幼稚園の保有台数 2 台は変わりございません。

○山崎教育長職務代理者

コロナウイルス感染症について日にちを追って書いていただきまして、安全性が保たれたと確認させていただきましたが、これは幼稚園だけの問題じゃないんですね。20 日土曜日の教諭以外の教諭 7 人で幼稚園で消毒を実施したというようなことがありますね。20 日土曜日は幼稚園休みだよ。その時、先生方が出て消毒を実施した。ここに違和感を感じたというのが一つ。もう一つ。先生方で消毒を実施した。その消毒の仕方とかを、実際に研修とかして、この場合にはこう、この場合にはこうというような形をやったのか。なぜ聞くかっていうと、これから幼稚園だけじゃなくて他の学校とかでも必ず起こってくるかもしれないことなので、対応の仕方を村として考えておく必要があるんじゃないかなというふうに思います。消毒のマニュアル的なもの、そして消毒の薬剤とかも十分準備しているのかどうか。どこまでを準備する範囲にするか、そういうこともきちんと押さえて、教育委員会だけじゃなくて、他のコロナウイルス関係にしている役場内の中においても、そういうところを考えていただければと思います。あくまでも先生方に頼って消毒というのは、私はもうちょっと考えなきゃいけないことだと思います。それに対して、みんな専門的なものを役場内で研修とかして習って、何かの時には出られるように、そのような体制をできれば作って持っていただければ、他の保育園でも学校でも、子ども安心できると思いますので、もっと流行してしまう前というのもおかしいです

けども、やはり準備はしておくべきじゃないかなというふうに感じましたので、よろしくお願  
いします。

○教育長

ご指導ありましたので、参考にしていきたいと思います。

○浅野委員

都内で世田谷区でしたか、保育所関係者とか、PCR検査を希望者全員にするみたいなこと  
が、ありましたけれども、そういった取り組みみたいなものは今後何か村で考えていращや  
ることがありますでしょうか。また先ほど、その他でお聞きしようと思っていたんですけど、  
今、ちょっとその教諭の先生方で消毒したってところで山崎先生もお話になったので、生  
涯学習課で未来塾で使ったテーブルを後で管理人さんが消毒してくれるんですけども、消毒  
剤が少ないので、その使ったところがわかるように椅子を引いて下さいというのがありま  
した。全部をするんじゃないなくて使ったところだけ消毒しますということなので、何かそういう  
消毒剤とかが、村で少ないのかと。その辺りお聞きしたかったので、一緒に質問させていただ  
きます。

○教育次長

世田谷のように、村としてPCR検査を行うというような対策は今のところ、私のところ  
では聞いてございません。また生涯学習課については、消毒液は自作しておりますので不足とい  
うことはないと考えます。

○生涯学習課長

生涯学習課ではアルコールで拭き上げるのではなく、次亜塩素酸ナトリウム液をつくって、  
これで拭いているような形ですから、量が少ないとかは多分ありませんので、そういう発言が  
あったかどうかも含め確認させていただきます。

○浅野委員

確かにこれだけのテーブルの中で使うのは何人なので、その部分だけをというのもわかるん  
ですけども、いろんな意味で、できれば消毒剤が手薄なわけではなければできるだけなんていう  
ことではなく十分な感染対策をしていただきたいなと思います。というのは結構子どもたち  
は、密になっていますので、そういったところもよろしくお願ひしたいと思います。

○教育次長

研修ではないのですが、消毒のことで、山崎教育長職務代理者さんもおっしゃったように、  
毎日先生方がやるのは大変だということで、明日、村長が業者さんから聞いてきた話ではある  
のですが、抗菌剤を塗れば4週間消毒しなくても大丈夫なんだというような薬が今、あるとい  
うことで、明日美浦中学校にその業者さん来てもらって、説明会を行います。養護の先生、教  
頭先生等、県南の教育事務所の管内教育委員会にも、せっかくでしたらどうですかというこ  
とで、声をかけたところ、いくつかの市町村からも参加し説明を聞くということになりました。  
今、言いましたように、消毒の手間は省きながらも、子どもたちが安全でいられるようにとい  
う取り組みは少しずつですが行っております。

○浅野委員

幼稚園教諭の経緯は、保護者さんとかにも報告とかされたんですか。

## ○教育次長

記載をしてはいなかったんですが、陽性の方と接触をしたのが13日ということで、以前から気を付ける期間は14日間ということだったんですが、今般見直しをされまして、そういう方と接触または発症から10日間は見るという基準が示されております。今回、10日以上たっているということもありまして、幼稚園の預かり保育は今、長期休業中の預かり保育で、夏休み中ですので、20名ぐらい毎日当園してきてるということでした。その状況から教育長と、全幼稚園児の保護者にお知らせするのか、預かりに来てる保護者だけにお知らせにするのかということで相談し、結論として検査結果が出るまでは待ちましようということにいたしました。先ほども申しましたが、完全に消毒をし、担当教諭は休ませてますので、昨日の月曜日、約20名の預かり保育は慎重の中で実施をして、検査結果を待っていたところ、昨日陰性と10日以上経過しているということとなりましたので、最終的に保護者には一切連絡してございません。

## ○教育長

どのタイミングで保護者へ連絡したらいいのか、逆に言えば、何も無いのに情報だけ流すと混乱を招くこともありますので、まず、今、次長から話がありましたが、夫がPCR検査を受けたというより、結果が出てまず判断しよう。これが陰性だったら何の連絡もしない。陽性だった場合、今度は奥さんが濃厚接触者になる可能性がありますので、保健所からPCR検査を受けなさいというあたりが一つの連絡をするポイントなんではないかと判断いたしました。ですから、まず夫が陰性なのか陽性なのかということの、ここをまず確実に確認して、それから対応を考えようかと判断いたしました。対応のシミュレーションはもちろん用意してありましたが、今回はこのような判断をいたしました。

### 【その他 新型コロナウイルス感染症対策関連について】

【指導室長 説明】

【幼稚園長 説明】

【木原保育所長 説明】

【質疑なし】

## ○教育長

私なりに気がかりなのが、学校内での感染はある程度対応できているのですが、今、ニュース等では家庭内感染による拡大が危惧されているところでございます。今、学校としてやれることはいち早く家族の方の健康状況を把握するというのを、現在学校では行っているところでございます。

### 【美浦村学校教育指導方針について】

【指導室長 説明】

【質疑】

## ○浅野委員

見開きの右ページの具現化のための取組のところで、村ALTを活用しsmalltalkを充実させた表現力っていうところなんですけど、ちょっとそのsmalltalkっていうのが具体的にどんなことなのか教えていただければと思います。

## ○指導室長

smalltalk といいますのは、高学年の新教材で設定されている活動であります。2時間に1回

程度の帯活動で、あるテーマのもとで指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりするというものなのですが、そういった英会話を取り入れた活動になります。ALTの方も含めてなんですが、担任教師が主体となって会話をするというので、その会話を聞いて聞く力を育てていき、表現につなげていくというのが5年生中心になっていきます。6年生は、先ほど申しましたペアで自分の考えや気持ちを英語で伝え合ったりするというようなところが中心になった英会話の活動になっていくということです。5年生で育てるものと、6年生で育てるものが少し違うということでもありますが、2時間に1回程度の帯活動の学習活動になっています。

○山崎教育長職務代理者

簡単に言うとどういった活動になりますか。

○指導室長

例えば5年生だったら、2人で会話のやりとりする姿を聞いたりして、自分でも会話ができるようにしていくという感じです。6年生になると、そういう会話から今度その中に自分の考えなんかも含めて会話ができるというところで、少し5年生とは違うんですが、簡単に言ってしまうと、5年生は例文を自分のものにしていく、6年生はそこに自分の考えが入るような英会話をつくっていきけるような力を育てていくという感じです。

○山崎教育長職務代理者

5年生と6年生っていう具体的な中身、非常にわかりやすいんですけども、簡単な英会話を行うということですか。

○指導室長

そうです。

○山崎教育長職務代理者

私たちが今、指導方針を見ていますが、教員の他誰が見ますか。保護者の方も見るのかな。

○指導室長

村としての学校教育指導方針ですので、保護者にも伝える場面もつくっていただければと思って、学校には周知しています。

○教育長

学校教育指導方針の対象者は教育関係者です。ですから美浦村の4つの小中学校の教職員を念頭に置いております。ですが美浦村のホームページにも掲載をしておりますので、住民の方も見ることはできます。ただ、保護者が通常見るものは、学校案内関係が主になるかと思いません。あくまで、この教育指導方針は指導者、教員関係を対象にして作成されたものでございます。

○山崎教育長職務代理者

smalltalk と、あとQU。そういうことがわかるのかどうかというのが、先生方も、私はもう古いからわからないだけで、みんなこういうことがわかるのか。学校でかみ砕いて保護者に知らせるというようなこともつけ加えていただければ、保護者に配る場合には、わかってもらえるような形をとっていくっていうのは大事なかなと思います。

#### ○指導室長

学校では、smalltalkは外国語などの中で新しく設定されて、今回メインになってきている部分でもありますので、教職員でしたら伝わっているかと思います。QUは子どもたちにアンケートをとって、そのアンケートの内容によって、学級に対する満足度など、そういったものが図れまして、どの子が学級に対して満足しているかとか、少し孤立しているとか、不満を持っているとか、分析できるアンケートになっています。QUテストは心理的なアンケートとしては、有名なものになっていますので、存じ上げない教職員の方々には、しっかり、周知伝達していきたいと考えております。

#### ○教育長

QUについて説明させていただきます。これはもう亡くなってしまったんですが、日本のカウンセリングの第一人者の国分康孝先生が監修した学校生活のアンケートなんですね。平成10年につくられまして、もう20年ぐらいたってるもので、導入している学校や教育委員会が多くあります。学級生活と、友達関係の設問がありますので、いじめについて、そういう見方もできるような奥深いものでございます。私も行っておりまして、簡単に集計して結果がわかるというようなものであります。そのため、導入している学校は多いと思います。また村内でも行っているところがあるという状況です。

#### ○小峯委員

質問が重複してしまうんですが、実はそのQU等を実施するということで今、教育長が言ったように、いじめなどもそこから散見できるんですね。そうすると、この4番の定期的なアンケートの実施による早期発見、こことどっちを大事にするのかっていう部分で、どういう方向性を考えているのかお聞きしたかったんですね。つまり、今まで実施しているので、多くはアンケートを実施しての早期発見だったと思うんですが、ここにもう一度掲げたというのは、QU等とは関連せずに、独自に、例えば年2回とか3回とか実施するようにうたったのか、QUと関連させて、その合間のところで、1回でも実施してもらうように掲げたのか、この辺についてはいかがでしょうか。

#### ○指導室長

(4)番の不登校やいじめ問題の解消のところにある定期的なアンケートというものに関しましては、学期に1回以上は、生活アンケートということで、これまでも定期的に学校生活についてのアンケートをとっております。こちらは、いじめられて嫌な思いをしたことがあるかとか、今もそれは続いているかとか、誰かに相談できるかとか、かなりこう、そのようなアンケートになっておりまして、同じ項目で毎回とっております。そこに記載した児童に関しても、記載してない児童に関してもそうなんですが、個別面談などを通して、少しでもいじめの解消や、いじめを未然防止する方向につなげていければと、学校で取り組んでいるアンケートでございますので、(4)番には、QUとは別のアンケートとして掲げさせていただきました。

#### ○教育長

この(4)のいじめ問題のアンケートは、単刀直入にいじめられていますか、いじめられていませんか、最近嫌なことがありますか、叩かれたことがありますか、無視されたことがありますかと、そういう類いのアンケートが(4)になります。QUは、どちらかという、見えない部分の中でいじめが起こったときに発見する一つのアンケートです。例えば、A君とB君と一緒に学校生活にいながら、A君は満足群で非常に学校生活に満足している。B君も一緒にいるんだけどQUをしてみたら、要支援組になる。じゃ、ここの人間関係はどういうふう

なってるのか。もしかしたら、見下しの心理が働いて、また支配的な意識が働いているのかどうか、そこで友達アンケートをとりながら、一緒にいるけど心理的に離れている、そういうような現象があらわれたときに、いじめの問題が隠されてることがある。ですから、いじめのアンケートについて、ありますかどうかという単刀直入のアンケートと、あと見えないものが見えるようにしていくアンケートがQUだっていうふうにご理解いただければと思います。

#### ○小峯委員

よくあるのが、ことが起こってから、アンケート調査をしている姿が今まであったかと思うんですけど、やはり4月、5月なり、学期に1回ということであれば、非常に大事な時期に定期的にやっぱりアンケートを実施するしていく必要があるし、見たことがある、聞いたことがあるっていうところでも、やはり聞き取り調査をしていく必要があるのかなというふうに思います。ぜひそんな方向で、今後も充実を図っていただきたいと。それから、(5)番のところの匿名報告、相談アプリ STOPit、これについては機材やスマホを持たないと、確か登録されないとと思うので、それを小学生に広げることができるのかどうかというあたり、これを活用するっていうことの方角性についてちょっと説明を受けたいと思います。

#### ○指導室長

匿名報告相談アプリ STOPit に関しましては、現在中学生で活用が行われているところです。小学生への活用は、検討していかなければいけない点があると考えておりますが、小学校の場合、身近に相談できる人をたくさんつくったり、あるいは相談できる雰囲気や学級の中でつくったり、どういうことがいじめなのか、それからどういうことがいじめにつながるのかとか、そういうところを、子どもたちに伝えながら活用していきたいと考えております。

#### ○教育長

STOPit アプリにつきましては、県の教育委員会がいじめ防止の取り組みとして具体的な方法として奨励されてるものでありますので、まず、村独自のものをここに載せるわけでありません。やはり県の教育委員会が取り組んでいるものも含めながら、我々はこの指導方針を周知していく、学校にもこれを周知していくということ、それがいじめ防止につながれば1番いいかなと。ですからそういう意味で、県の教育委員会の取り組みを載せさせていただいたところがございます。

#### ○浅野委員

ちょっと戻ってしまいますけれども、先ほどのQUの説明をお伺いして、内容とかその読み取り方が難しい、読み取り方によって、いろんなことを発見できるとわかったんですけど、その頻度ですか、回数をお聞きしたかもしれないんですけど、もう一度、QUのテストを行う回数と、アンケートが何回というのをもう1回聞きたいと思います。

#### ○指導室長

QUのアンケートに関しましては、定期的には行っておりません。(4)番の不登校やいじめ問題の解消につながるアンケートに関しましては、生徒指導も含めまして、定期的に行っているアンケートです。QUは、ちょっとイメージがわきにくいかと思うんですが、学級の中の個人の位置や、関係性などを分析したりいたしますので、そういったところから学級経営とか、友達関係とか、そういったものの把握につなげていくというもので、年度始めで学級が変わったとき等に実施し、どういう傾向があるかを分析して学級経営を行っていきます。生活とアンケートとは内容が少し違ってきております。定期的に生活アンケートを行っております。



○教育長

端的に言いますと多分、森永指導室長から言いましたように、いじめ関係のアンケートは学期ごとで、私の経験からいうと、このQUは年2回ぐらいでいいかなと思っております。あと、これは蛇足なんですけど、学校でQUやってわからなかったら私が指導に行きます。

【その他 学校再開後の子どもたちの様子について】

○小峯委員

学校もスタートしたわけですけど、子どもたちの様子はどうでしょうかね、その辺ちょっと近況をお知らせください。

○指導室長

毎日、学校からは、欠席者の報告は学校再開当初からいただいております。今、コロナウイルスを不安に思っている子は、少なくなっているかと思えます。子どもたちは、自分たちで自分たちの命を守っていこうということが、浸透してきております。手洗いやうがいとか、感染防止のための方策を自分たちでしっかり行っており、健康に元気に過ごしてきていると報告をいただいております。外遊び等も密にならない工夫をしながらやっていたり、今、暑い中ですので、熱中症対策も踏まえながら、一人一人が元気に過ごしていけるような努力をされていたりという報告を受けております。

○浅野委員

学校と接触する機会が今年度とても少ないので、そういうことをお聞きしたかったんですけども、自粛期間が長かった休み明けと、またこの夏休みの短い明けとかで、学校を長く休んでるとかそういったお子さんの変化とか、お聞きしたらいいなと思えます。

○指導室長

学校を長く休んでいるお子さんというのがどうなっているかというところなんですけど、今年度、学校再開自体が少し遅れていました。例年とは違う生活が続いておりますので、学校生活を逆に大事にするような子どもたちも増えております。保護者の方も、学校再開はすごく良かったという思いがあったようで、今、夏休みは少なかったんですけど、休み前までは、暑くても元気に登校している子が多かったですし、今、学校は始まっていますけれども、休み明けに、休み始めたというお子さんの報告は聞いておりませんので、通常と変わらない学校生活を少し感謝しながら過ごしている子も増えているのかなと感じております。

○教育長

前期の後半が昨日から始まったところです。8月7日で前半が終わったわけですが、4月、5月の臨時休業した分の授業を、夏休みを少し延長して授業をやったところです。それによって授業の遅れは、2カ月分が大体2週間、場合によっては3週間ぐらいの遅れまでとりもどしたというようなところでございます。後半は1週間長くなっていますので、今年度末には解消できるだろうと思っているところでございます。あと子どもたちの様子は、今、室長からありましたように、特に大きな事故とかはありません。またコロナによる不登校というのも、前半の部分と特に変わった様子はないと思っております。夏休みはお盆前後、かなり猛暑が続いておりました。そこで危惧するのは熱中症とコロナの発症状況が似ていることです。ですから、熱中症、何とか防止していきたい、先ほど出ましたように、製氷機等をうまく活用していきたいなと思っているところでございます。また、校長にお願いしたことは、例年どおり

というような捉え方ではだめだと。今までと違う状況で学校経営運営がされておりますので、やはり、これまでは通用していたけど、これからは通用しない。それが今年であると。ですから、場合によっては教育委員会への相談を再度校長にお願いしながら、この後半戦をスタートしたところがございます。このことは機会ある度に言っていましたので、4人の校長とも意識しながら、やっけていただいているところがございます。9月になると運動会、体育祭、去年とは違った形になりますが、これについて、保護者の要望はどうなのか、やはり子どもたちの安心安全のために、コロナ感染防止のためにどうしていったらいいのか、疑問に思う方とは、ゆっくり話し合っけてほしいと、そういうふうに思っています。

#### ○浅野委員

全体的様子は伺いしてわかるんですけども、さかのぼると、昨年度の最後からこんな状態になりましたので、具体的に昨年、不登校になったお子さんが、今、来れるようになったのかとか、数的に増えてはいないのかとか、具体的にお聞きできればと、気になりますので。昨年度不登校のお子さんたちが今、どうなってるのかをお聞きしたいです。

#### ○指導室長

昨年度、継続して学年が上がったお子さんに関しましては、毎月定期的に、学校休校期間も含めまして、不登校、10日以上欠席のお子さんを報告いただいております。また今年度は、村全体として、不登校を1人でも減らし、楽しい学校生活に子どもたちにつなげていきたいというのを目標にしておりますので、学校と教育委員会がタイアップしながら、1人でも不登校にならない、させない。不登校だった子が元気に学校に行けるっていう状況になるように、生徒指導部含めて、今、頑張っているところです。その中でも、やはり最初が肝心という言葉がありますように、新しい学年になって、すぐお休みしがちになってしまう、昨年度から引き継いでというお子さんが出ないように、少し声かけを工夫したり、あと家庭訪問も、このコロナ禍の状況の中だったんですけども、対策をしながら行ったりしました。新しい担任になった方もいましたので、少しでも関係がつくれて、学校に来やすい雰囲気をつくれるように努力していました。その結果、昨年度の現状に比べ、6月7月過ぎましたところに比べますと、多少減っているかなというところがあります。ただ、継続して今年度もという子どもたちもいるんですが、なるべく最初に手を打つということを心がけながら、今、各学校で対応していただいています。数としては、昨年度よりは多少減っているかなというところではあります。

#### ○教育長

先月ですね、生涯学習課所管の適応指導教室の相談員と家庭教育支援相談員等の事例検討会報告会がありまして、私も参加させていただきました。原因はさまざまになってというのが、感想であります。そういう中で、コロナによる不登校という事例はないと思うんですね。しかし、不登校の問題は多くありますので、27日に事例検討会に参加しながら先生方と一緒に考えていきたいなど。それが参考になれば、非常にありがたいなど。そう思っているところです。

#### 【奉仕作業中止による学校の環境整備について】

#### ○栗山委員

奉仕作業が中止になっていますが、通常運動会前に保護者と先生、子どもたちと一緒に草刈りや学校内清掃をする作業行事があったと思うんですが、今回は行わないということは、そういうのは、先生が行うのでしょうか。

#### ○指導室長

例年ですと、教職員含めて子どもたち、保護者の方々と協力し合っているところなんです、どの学校も今までの実態を見ても参加者が多いので、まず、密集、密接そういったところはかなりあり、コロナ対策でマスクをされてる方も多だろうということで、熱中症も含めまして、今年度は中止としております。通常の草刈りなどをどうするかということなんです、そこは無理のない範囲で、学校で対策をしたり、村に学校用の乗用草刈機がありますので、そのあたりをうまく利用しながら、無理のない範囲で草刈りも行っていくと。また村で業者に草刈りを依頼できる整備費も付けていただいておりますので、そちらも上手に活用させていただいていくということで、学校と中止を決めたというのがあります。

#### ○栗山委員

草刈りもそうですし、消毒とかの負担が大きいと思うんです。その中で、新採の先生方は特に、慣れる期間というか、今回イレギュラーな学校の状態なので、通常の状態と違うなり方だと思うので、その辺のケアというか特に若い先生には必要になってくると思います。

#### ○指導室長

先日、美浦中の3名の新採の先生方と一緒に美浦村の施設や主なものを見て回るという、美浦村巡検を行いました。3名ということなので、コンパクトにできるということもそうなんです、なかなか、外での研修もなかったというのもありますので開催した次第なんです、学校再開までの間、逆にゆっくり準備ができたり、そういったいい点もあったとも聞いております。今回、巡検の時間がもてたことで、より一層美浦村に対する思いというか、そういうのも感じていただけました。これからも、特に若い先生が多い美浦中学校はこちらからも、様子を聞きながら、一緒に考えていけたらなと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### ○教育長

先ほど奉仕作業の件が出ましたが、今年は、コロナで学校から感染させてしまったり、感染拡大させてしまったり、その原因となることは、やはり避けたいなと。だったら少しぐらい草が生えてもいいだろうと。今年はそういう思い切った判断決断をしていかなくちやならないと思っております。そういう中で、教職員の負担も、もしかしたらふえるかもしれませんが、まず草取り等は用務員さんもいますし機器も美浦は充実していますので、やれる範囲で環境整備をやっていっていただきたいなと思っております。